

作物の種類		大豆		430	1次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調 査 方 法 等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	主茎長	10個体	測定	cm (小数第1位を四捨五入)									9~12個体/m ² の栽培密度で栽培した生育中庸の10個体の子葉節から主茎生長点までの長さ (主茎先端の花梗は除く) の平均	
2	主茎節数	10個体	測定	節 (小数第2位を四捨五入)									9~12個体/m ² の栽培密度で栽培した生育中庸の10個体の子葉節から主茎最頂節までの総節数 (子葉節を第1節とする) の平均	
3	小葉の形	区	観察				槍型		三角形		鋭先卵形	卵型	平成15年度審査基準国際統一委託事業調査報告書(平成16年3月)を参照	
4	花色	区	観察		白							紫	当日開花した花の色	
5	胚軸色	区	観察		緑							紫	初生葉着生時が観察しやすい	
6	種皮の地色	区	観察		黄白	黄	黄緑	緑	淡褐	褐	黒	斑色	成熟子実の種皮の地色 (へその色を除く、斑紋種では分布面積に関係なく、薄い方の色を地色とする)	
7	種皮の複色	区	観察		黄白	黄	黄緑	緑	淡褐	褐	黒	その他	子実が複色の品種の斑の色 (単色の場合は記載せず)	
8	臍の色	区	観察			黄	淡褐	褐	暗褐	緑	淡黒	黒	その他	臍部の色
9	粒の子葉色	区	観察			黄						緑	剥皮面あるいは切断面の色をみる	
10	開花期	区	観察	年月日									開花した個体が全個体の50%を占めた日	
11	成熟期	区	観察	年月日									全個体の80~90%の莢が品種固有の熟莢色を呈した日	
12	100粒重	100粒	測定	g (小数第2位を四捨五入)									風乾した完全粒100粒を2回秤量する (15%水分換算値)	
13	伸育型	区	観察				有限	やや有限	中間	やや無限	無限		平成15年度審査基準国際統一委託事業調査報告書(平成16年3月)を参照	
14	粒の光沢		観察				弱		中		強	ろう状粉	風乾子実の光沢程度を観察により判定する	

作物の種類		大豆	430	1次必須項目											
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
15	毛茸の有無		観察		有									無	観察により判定
16	小葉の数		観察				3枚葉		5枚葉		7枚葉				開花期における完全葉の主たる小葉数

作物の種類		大豆		430		1次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位										調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8	9		
1	分枝数	10個体	測定	本/個体（小数第2位を四捨五入）										9～12個体/m ² の栽培密度で栽培した生育中庸の10個体の2節以上の節数を有する一次分枝の数の平均	
2	毛茸色	区	観察		白							褐		生長期における毛茸の色	
3	多粒莢率	10個体	測定		低				中				高	莢数に占める3粒以上莢(稔実粒数)の割合	
4	熟莢色	区	観察				淡		中			濃		莢の着色の濃淡	
5	粒形	100粒	観察			球		扁球		楕円体		扁楕円体		平成15年度審査基準国際統一委託事業調査報告書(平成16年3月)を参照	
6	最下着莢高	10個体	測定	cm（小数第1位を四捨五入）										10～12個体/m ² の栽培密度で栽培した生育中庸の10個体の子葉節よりから最下着莢節位までの高さ(cm)の平均	

作物の種類		大豆		430		2次選択項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分 級 ・ 単 位									調査方法等		
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9	
1	ダイズモザイクウイルス抵抗性(A系統)	10個体	測定	感受性										抵抗性	SMV-A系統を接種して、罹病株率10%以下を抵抗性、11～50%未満を再検討、51%以上を感受性とする
2	ダイズモザイクウイルス抵抗性(A2系統)	10個体	測定	感受性										抵抗性	SMV-A2系統を接種して、罹病株率10%以下を抵抗性、11～50%未満を再検討、51%以上を感受性とする
3	ダイズモザイクウイルス抵抗性(B系統)	10個体	測定	感受性										抵抗性	SMV-B系統を接種して、罹病株率10%以下を抵抗性、11～50%未満を再検討、51%以上を感受性とする
4	ダイズモザイクウイルス抵抗性(C系統)	10個体	測定	感受性										抵抗性	SMV-C系統を接種して、罹病株率10%以下を抵抗性、11～50%未満を再検討、51%以上を感受性とする
5	ダイズモザイクウイルス抵抗性(D系統)	10個体	測定	感受性										抵抗性	SMV-D系統を接種して、罹病株率10%以下を抵抗性、11～50%未満を再検討、51%以上を感受性とする
6	ダイズモザイクウイルス抵抗性(E系統)	10個体	測定	感受性										抵抗性	SMV-E系統を接種して、罹病株率10%以下を抵抗性、11～50%未満を再検討、51%以上を感受性とする
7	ダイズシストセンチュウ抵抗性	10個体	測定		極弱	弱		中		強			極強	検定用土壌に播種後40～60日頃、10株をていねいに堀取り寄生度指数を算出し、判定する。(指数)極弱:66%以上、弱:41～65%、中:21～40%、強:1～20%、極強:0%	
8	わい化病抵抗性	10個体	測定			弱	やや弱	中	やや強	強					多発圃場での無防除栽培で、開花期～子実肥大期に調査した発病率から判定する。(発病率)強:0～9%、やや強:10～34%、中:35～49%、やや弱:50～64%、弱:65～100%
9	紫斑病抵抗性	200粒	測定		極弱	弱		中		強			極強	完熟粒200粒で調査し、斑紋が2mm以上を紫斑粒として紫斑粒率(紫斑粒数/調査数)で表示する。(紫斑粒率)極弱:31%以上,弱:16～30%,中:6～15%,強:1～5%,極強:0%	
10	倒伏抵抗性	区	測定		極弱	弱		中		強			極強	平成15年度審査基準国際統一委託事業調査報告書(平成16年3月)を参照	

作物の種類		大豆		430		2次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
11	裂莢の難易	100莢 ／10個体	測定				易		中			難		収穫後1ヶ月以上日陰で乾燥させた個体5～10個体からの完全莢50莢以上を紙袋に入れて、60℃3時間乾燥後に調査した裂莢率から判定する。(裂莢率) 易:51%以上、中:21～50%、難20%以下
12	PSV抵抗性	10個体	測定	感受性									抵抗性	PSVを接種して、罹病株率10%以下を抵抗性、11～50%未満を再検討、51%以上を感受性とする。接種に用いた分離株名を明示する
13	SBMV抵抗性	10個体	測定	感受性									抵抗性	SBMVを接種して、罹病株率10%以下を抵抗性、11～50%未満を再検討、51%以上を感受性とする。接種に用いた分離株名を明示する
14	低温着色抵抗性	6個体	測定				弱		中			強	極強	開花期7日後から14日間低温処理を行い、子実の臍および臍周辺の着色粒率から判定する
15	開花期耐冷性	10個体	測定				弱	やや弱	中	やや強	強			開花始から28日間低温処理を行い、子実収量の低下の程度から判定する

作物の種類		大豆		430	3次必須項目									
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	子実収量	区	測定				少	やや少	中	やや多	多			判別基準：熟期差が1週間以内の標準品種対比で、少:80%以下、やや少:81-90%、中:91-110%、やや多:111-120%、多:121%以上
2	粗蛋白含有率		測定	% (小数第2位を四捨五入)									全窒素含有率に6.25を乗じたもので表す (分析法を明示する) (乾物中%)	
3	粗脂肪含有率		測定	% (小数第2位を四捨五入)									分析法を明示する(乾物中%)	

作物の種類		大豆		430		3次選択項目								
項目番号	項目名	調査数	方法	分級・単位									調査方法等	
				0	1	2	3	4	5	6	7	8		9
1	裂皮の難易	200粒	測定				易		中			難		完熟粒200粒で調査し、裂皮粒率(裂皮粒数/調査粒数)で表示する。(裂皮粒率)易:15%以上、中:6~14%、難:5%以下
2	リポキシゲナーゼアイソザイムの有無		測定		全欠	L-1,L-2欠	L-1,L-3欠	L-2,L-3欠	L-1欠	L-2欠	L-3欠	全有		リポキシゲナーゼアイソザイム(L-1,L-2,L-3)の有無。SDS-ゲル電気泳動法またはカロテン退色法により分析する。
3	7Sグロブリンサブユニット		測定		全欠	$\alpha \cdot \alpha'$ 欠	$\alpha \cdot \beta$ 欠	$\alpha' \cdot \beta$ 欠	α 欠	α' 欠	β 欠	全有	その他	SDS-ゲル電気泳動法により分析する。 β' などの変異体はその他に分類する
4	11Sグロブリンサブユニット		測定		全欠	I \cdot IIa欠	I \cdot IIb欠	IIa \cdot IIb欠	I欠	IIa欠	IIb欠	全有		SDS-ゲル電気泳動法により分析する。
5	イソフラボン含量		測定	mg/100g (小数第1位を四捨五入)									分析法を明示する(乾物中)	
6	サポニン組成(Aグループ)		測定			Aa	Ab	Ac	Ad	Ae	Af	その他		TLC法またはHPLC法により分析する
7	カルシウム含量		測定	mg/100g (小数第1位を四捨五入)									分析法を明示する(乾物中,mg/100g)	
8	リン含量		測定	mg/100g (小数第1位を四捨五入)									分析法を明示する(乾物中,mg/100g)	
9	ショ糖含量		測定	mg/100g (小数第2位を四捨五入)									分析法を明示する(乾物中)	
10	ルテイン含量		測定	mg/100g (小数第2位を四捨五入)									分析法を明示する(乾物中)	
11	トコフェロール含量		測定	mg/100g (小数第2位を四捨五入)									α 、 δ 、 γ の順に列記する。分析法を明示する(乾物中)	